

● 広報

おぐに



2011

12

NO.686



～ 巧みな話芸、堂々と。～

11月3日に開催された小国町文化祭「芸能まつり」には、子ども落語教室の子どもたちも出演しました。大人顔負けの堂々とした話芸に、会場は、笑い声に包まれていました。

森をまもる 森をいかす

「国際森林年」記念

白い森の国フォーラム

2011年は、国連が定める「国際森林年」です。町では「国際森林年」の理念に基づき、森林の持つ機能や重要性を改めて認識し、その保全と活用の在り方を考える機会とするため、「国際森林年」記念 白い森の国フォーラムを11月4日、5日の両日、総合センターを主会場に開催しました。黒沢峠沿線での記念植樹や、東京大学名誉教授の養老孟司氏による基調講演のほか、事例発表やパネルディスカッションを行い、森林の利用の在り方や森と人のかかわり方などについて意見を交わしました。今月は、その概要を紹介いたします。

基調講演

「森林と日本人の関わり、その新たな可能性」

東京大学名誉教授

養老孟司氏



講演要旨

日本人は、森を大切にし、親しんでいるのでしょうか。広葉樹は、炭焼きに使えますし、その下に生えている草は刈り取って、家畜の飼料やかやぶきの屋根などに利用できます。森は、さまざまな形で利用することができますが、現在は使われていません。

なぜなら石油のおかげで薪や炭を必要としなくなってきたからです。ナラやクヌギで薪や炭を作らないため、その副作用で木が害虫の好きな太さとなり、ナラ枯れも起こりました。

私たちにとって森は何を意味するのでしょうか。一つは経済に通じる資源としての森です。木材は、チップやペレットなど、バイオマス燃料として使えますが、これらの日本の生産量はドイツの10分の1しかありません。

木材を十分に利用した経済的なストーブなどは売っていないけれども、石油ストーブは量産で安く手に入ります。日本の森の資源を上手に使えばエネルギーになります。木を切り出す際の狭い道路事情、地主の許可など、エネルギーとして利用するまでが大変です。石油はいつか完全になくなりません。日本人が、働いて1日で作り出すエネルギーを1とすると、石油などの外部供給エネルギーは、その40倍あります。人より石油に頼った方が確実です。つまり人間の価値が40分の1になったと考えられます。

实体经济でエネルギーは、そのままお金になります。戦後の経済成長は、エネルギー消費の増加で、いわば石油の使用量の増加です。石油の成長7%というのは、石油の使用量が7%増という

うことです。

今の若い人は石油ゼロという心配そうな顔をしませんが、石油ゼロで育った私は、全く心配ないと思っています。資源という意味で森と関係するものに水があります。ここ小国では当たり前ですが、透明な水が流れている川は世界でも少ないです。水は森が作ります。21世紀は水の世紀と言えます。国際紛争が起きているのも水問題が原因です。石油はもちろん大切ですが、水は生死の問題です。日本人が水の有り難さに気づかないのは、どこにでも水があるからでしょう。

今後、小国の生きる道は何か。それは水力、バイオマスを使うことだと思います。小国は水が豊かです。川で小規模な発電をすれば、その周辺には十分なエネルギーを供給できます。水力は公害がありませんし、今は魚が遡上できる堰はいくらでも作ることができます。エネルギー危機を考えれば、地産地消、自給自足は絶対に有利で、それが将来幸せに暮らしていく根本であることを皆さん一人ひとりが考えていく必要があります。



2011・国際森林年

森をつくる

パネルディスカッション

「森と人をつなぐ多様な取り組みとこれからの方向」

■コーディネーター

東北芸術工科大学芸術学部教授

田口洋美氏

■パネリスト

NPO法人共存の森ネットワーク事務局長

吉野奈保子氏

(株)熊倉林業代表 空師

熊倉純一氏

(株)研進代表取締役

出縄貴史氏

小玉川マタギ

舟山堅一氏



「森の聞き書き甲子園に参加して」と題して、森の名人・舟山勇さん（若山）に対する取材内容、成果などを発表した小国高等学校2年の齋藤麻未さん。

パネリストの 皆さんの森との かかわり、仕事

田口「森をつくる」「森をまもる」「森をいかす」これをテーマに皆さんと議論していきたいと思います。それぞれのパネラーのかたから、現在のどのような仕事をして森にかかわっているのかを發表していただけますか。

吉野 私のNPOでは、「森の聞き書き甲子園」という活動を行っています。これは、毎年100人の高校生が、「森の名手・名人」を訪ね、その人が生きてきた人生や森とともに生きるための知恵、技を「聞き書き」

という形で記録し、学んでいく活動です。高度経済成長期以前の日本人が、自然とともにどのような知恵や技、心持ちで暮らしてきたのかを記録に残すとともに、祖父父母の世代の生き方や価値観を見つめ直していくのです。高校生が、これからの持続可能な暮らしのイメージの姿を考えていくときに、今の60代以上の人々、特に山村の伝統的な生活や文化から学ぶべきことは多いですし、そこに大きなヒントがあると感じています。

熊倉 私は、一般的な林業とは異なる「空師」と呼ばれる特殊な仕事をしています。空師の仕事とは、国道に隣接して立つ木や、民家



が隣接しているとそこに立つ木などに登り、その木を木材として生かすように伐採する仕事です。現在は、木材相場の下落で、山や木の持ち主のかたが困っているという状況です。ですから、皆さんが国産材を使い、国産材が売れるようになれば、結果的に、山や木の持ち主が補助金などに頼らず、山の手入れをできるようになると思います。

出縄 私は、知的障がい者のかたが入所している進和学園という社会福祉法人の営業窓口の仕事をしています。進和学園が請け負う主な仕事は、本田技研工業(株)

の自動車部品の組み立てです。そのほかにも、パンやクッキーの製造や、農作業などにも挑戦しています。そのなかで、「いのちの森づくりプロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトは、ドングリを育てて苗を作り出荷するもので、5年半前に、横浜国立大学の宮脇昭先生のご指導で、事務所の周りに植樹をしました。心が自立と、経済的な自立を目指そうと考えたからです。「立派な巨木も一つのドングリから」ということで、私たちが発信している森づくりが、少しずつ広がっていったらありがたいと思います。

舟山 飯豊山麓の森にあるオオマタザワに、センボンミネという場所があります。そこは、クマが何頭生息しているか分からないくらい山深いところです。私も今まで50年ほどマタギをやってきましたが、3回くらいしか行ったことがありません。その上流にアキタコヤバという地名があり、秋田の人が、泊まった場所だと言われています。また、クマはいっ行っても同じ場所

知恵、技の継承と 新たな可能性を探る



田口洋美氏



吉野奈保子氏



出縄貴史氏



熊倉純一氏



舟山堅一氏

にいます。それは森が変わっていないからだと思いません。そしてその森をこれからも守っていきたくと思っています。

田口 吉野さんが展開されている仕事は、高校生たちに文化継承を促して後継者の育成を図ることだと思えます。空師の熊倉さんの仕事は、特殊な林業ということですが、建物と建物の間、巨木が存在して、倒せないという事例が多く、需要が高まっていると思います。出縄さんのお仕事は、障がい者の雇用支援というだけではなくて、森の再生も含めて、雇用支援の在り方を広く模索されています。舟山さんは、小玉川で現役の猟師です。アキタコヤバは、かつて飯豊連峰に來た秋田の渡りマタギの人たちが、猟場に建てた小屋の跡です。そこに見事なクマがいるぞということなんです。この4人のかたがたのお話、そして養老先生のお話をまとめていくと、私は、閉じた狭いシステムではなくて、地域と地域、人と人が連携し、そこに運動という相乗的な力学を生み出そうということであろうと思います。

どのように 連携すべきか

吉野 福島県の取り組みで、山菜やキノコをブランド化しようという動きがありまして、一つの地区、一つの町で何かやろうとしても、都市側のニーズに応えるためには、ある程度の出荷量や出荷期間が必要で、ひとつの地区だけではとても対応できません。そこで、中山間地域が広域連携する仕組みをつくらうとしています。これからの時代は、山村地域が手をとりあい、知恵を出し合って、人材交流を進めていくことが必要だと思っています。

田口 人口減少をカバーしていくには、人材の共有化が必要です。つまりそれは連携です。人材を的確に配置して、その人たちがリーダーとなり連携していくことによって、人の関わる自然の面倒をみる。このように地域を連携させていくためにはどうしたらいいのでしょうか。

熊倉 林業については、埼玉県の場合、3つの地域で森林組合が分かれていて、

それぞれの交流がない状況です。地域で分けず、技術的なことなどを共有できればいいと思います。

出縄 今、大学生5人に1人は就職できない時代で、ハンデを持っておられるかたを企業が雇用するのは難しいです。しかし、私どもの施設に仕事を発注してもらうことで、障がい者の仕事場が創出されます。草むしりや作物の収穫など、農家のかたが高齢となり、苦労されている状況もあります。これを障がい者のかたの仕事とすることで、農家も助かるし、私どもの工賃にもなるという、一つの連携のモデルができます。限られた狭い範囲ではなく、広域連携というものを目指すべきだと思っています。

田口 何もかもを一つの町でやる必要があるのだろうかということですね。行政が大きなチームを作り、コストを減らして、いくつもの行政がひとつの目標に向かって実現していくという可能性はないのでしょうか。

吉野 広域連携と同時に、私は地産地消という考え方も大切だと思います。例えば、木質バイオマスは、か

森とかわる



会場には、町内外から約150人が訪れ、熱心に聞き入っていた。

森を守る猟師の連携が必要

舟山氏

100年後を見据えた植樹を

熊倉氏

利益と痛みを

分かちあう連携が必要

出縄氏

若い人が山村に新しい風

吉野氏

お手本となる人は小国にいる

田口氏

さばって重いという木材の特徴から、広域に流通させるのは難しいという側面があります。昔は、燃料としての薪を得るために20年から30年サイクルの萌芽更新で、森を再生させました。自然の成長量にあわせて、人間は暮らしてきたのです。過度な森林伐採を避けるためにも、木質バイオマスとしての森の活用は、地域ごとに計画を作っていく必要があると思います。

田口 隣町であるとか、隣の集落などの狭い地域での連携もあると思います。例えば、小国の猟師たちが米沢の人たちと協力して若い人たちを研修させたり、あるいは山形県全県のなかで技術交流したり、質を向上させる取り組みをするべきだと思っています。

舟山 クマは増えてきていますが、追っていたクマが隣の猟友会の領域に行ってしまったら獲ることができません。こうしたことを解消し、飯豊山なら飯豊山全体でクマを捕獲できるようにしていく必要があると思います。

田口 猟場の合併、集落間の連携をするためのお互いの権利などの調整を図る。これを進めていく必要があるかと考えています。農業や

漁業権の問題も、そういう議論を進めていくことによって、領域を拡大して集落と集落とが連携し合うという方向に持っていくことがいいと思います。

縮小社会に入ってしまった現実を私たちがきちんと認識して、いろいろな人の話を評価し合うことが重要です。そして、山と森の世界を守っていくには人の力が必要です。

森をつくる、まもる、いかす人を育てる

吉野 聞き書き甲子園」という活動に取り組みながら実感しているのは、連携というの若い子のほうが得意だなということです。若い人が一人でも山村に入ると、その地域に風穴を開けてくれます。

出縄 連携ということを考えてきたときに、利益を分かち合うということと同時に痛みも分かち合う、そういう連携でないか、これからの日本は難しいのではないのでしょうか。我欲を捨てて、分かち合うという連携、そういうモラル、倫理観を持った人材をいかに育成するかが、大きな課題だと思います。

熊倉 小国町はケヤキの産地だったということを聞きました。これは、優良なケヤキを育む環境にあるということだと思っています。ですから、100年後、200年後のことを考えて、その地域にあった小さい苗を植えて育てて、後々に立派な木材として使えるよう取り組んでほしいと思います。

田口 私たちが森を大事にして、森を世話していく、使っていくためには、人がいなければできません。その人を私たちは育てなければならぬのですし、これは私たちの世代の使命だと思います。若い人たちが興味を持ち、そこに人生をかけてくれるような、あこがれの人間に私たち自身がならなければならぬと思います。つまり、若い人たちに

まちづくりの功績のあった10個人、3団体を表彰

小国町文化の日表彰式

小国町文化の日表彰式を11月3日、総合センターで開催し、本町の振興発展に貢献した10個人、3団体を表彰しました。

表彰内容と受賞者は、次のとおりです。

功労表彰

舟山 勇氏（若山）

長年にわたり、町の特性を生かし、ワラビ、ゼンマ



イ等の生産技術開発に取り組み、本町林業の振興発展に貢献されました。

藤田 榮一氏（小玉川）

長年にわたり、マタギの頭領として後輩の育成に努められるとともに、マタギ・狩猟に関する記録活動を通じて、マタギ文化の保存・継承に貢献されました。

古田歌舞伎保存会

昭和61年の古田歌舞伎の復興以降、20年以上にわたり古田歌舞伎の定期公演を開催し、保存・継承に取り組みられるとともに、沖庭小学校においても積極的に歌舞伎の指導を行い、地域文化の発展に貢献されました。

小国町立沖庭小学校

昭和63年から20年以上にわたり地域のかたがたとともに沖小歌舞伎の公演活動

に取り組み、歌舞伎を通じてふるさとを学び愛する心を育む特色ある教育活動の推進に尽力されました。

小国町立白沼小中学校

長年にわたり、地域のかたがたとともに国道清掃等の環境保全活動及び学校林の整備や森林学習等に取り組み、ふるさとを学び愛する心を育む特色ある教育活動の推進に尽力されました。

感謝状

今 儀一氏（小渡）

昭和50年から平成23年ま



での36年間にわたり、重機械運転手として除雪作業にあたられ、冬季間の町民生活安定確保とともに、除雪技術の向上に努め、他の作業者の模範として尽力されました。

田口 洋美氏（山形市）

長年にわたりマタギ文化の調査・研究に取り組み、本町のマタギが受け継いできた狩猟技術・文化を高く評価し、その普及・継承に尽力されました。

永年勤続表彰

農業委員（15年以上）

新野 八郎兵衛氏（伊佐領）
遠藤 昭氏（白子沢）

国民健康保険運営

協議会委員（15年以上）
渡部 春昭氏（岩井沢）

農業振興組合長（10年以上）

佐藤 義昭氏（舟渡）
齋藤 廣實氏（五味沢）
山口 悟氏（大石沢）



今年の秋は、アケビ、キノコ、クリ、クルミなど、山の恵みを沢山いただきました。小国に来て初めて食べるものもあれば、意外な食べ方を知って驚かされたものもあります。

例えばアケビ。アケビの事はもともと知っていて、山で見つけると甘い中身を種ごといただいていたもの

緑のふるさと協力隊便り

シリーズ7

山の恵みと人々の知恵に驚きました

神田 やよい

でしたが、まさか皮の部分も食べられるとは思っていませんでした。中身とは全く違うほろ苦い味がまた美味しかったです。

キノコは、オリミキヤムキタケなど初めて食べたものも沢山あったのですが、毒キノコまで食べる方法があると聞いた時はびっくりしました。

毒のあるオオワライタケは、塩漬けて毒を抜くと食べられるのだそうです。どのような味なのか気になりませんが、調理方法を間違えたら怖いのでさすがに自分で試す勇氣はありません。

毒キノコの料理法や味まで知っている、山で長年生きてきた知恵には驚かされるばかりです。自分でもできるものから挑戦してみたいです。

宝くじ助成 で放送設備 を整備



町では、火災予防などの防災活動を推進するため、(財)自治総合センター「コミュニティ助成事業・地域防災組織育成事業」の助成を受け、啓発活動等で使用する放送設備などを整備しました。この設備を、毎年の総合防災訓練をはじめとする各種事業において活用し、広く防火思想の普及啓発を実施することとしています。



※この助成事業は、宝くじの普及広報を目的として行われているもので、宝くじの収入を財源としています。

シリーズ 防災・減災を考える⑧

節電の冬に向け 火災に注意しましょう

東日本大震災による大規模停電の経験や、節電志向の高まりで、反射式石油ストーブの利用が広がりを見せています。消防小国分署によると、反射式石油ストーブは、温風式の石油ファンヒーターより火災が発生しやすく注意が必要とのことです。主な注意点については次のとおりです。

- **ストーブの周りに注意**
洗濯物を干したり、近くにスプレー缶や燃えやすい物を置いたりしないようにしましょう。
- **給油の際は、必ず火を消す**
こぼれた灯油が引火し火災につながる危険があります。
- **ストーブを必ず消しましょう**
部屋に誰も居ないとき、外出するときは必ず消しましょう。

一人ひとりが特性を理解し、火災予防を心掛けていきましょう。

お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要を町民の皆さんにお知らせします。

職員手当の状況（一般職）

（平成23年4月1日現在）

扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者 13,000円/月 扶養親族1人につき6,500円（配偶者がいない場合11,000円） （満16歳～22歳までの子につき5,000円加算） 									
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> 借家 月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、 27,000円/月を限度に家賃に応じて支給。 									
通勤手当	通勤距離2km以上を対象に支給。 <ul style="list-style-type: none"> 交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額 55,000円/月 自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円/月 									
期末勤勉手当	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>期末手当</td> <td>勤勉手当</td> </tr> <tr> <td>● 6月期</td> <td>1.225月分</td> <td>0.675月分</td> </tr> <tr> <td>● 12月期</td> <td>1.375月分</td> <td>0.675月分</td> </tr> </table> ※3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5%～15%の加算措置有り		期末手当	勤勉手当	● 6月期	1.225月分	0.675月分	● 12月期	1.375月分	0.675月分
	期末手当	勤勉手当								
● 6月期	1.225月分	0.675月分								
● 12月期	1.375月分	0.675月分								



（各年度一般会計決算）

時間外勤務手当	区分	支給総額	1人当たり平均支給額
	21年度決算額	20,814千円	188千円
	22年度決算額	26,212千円	232千円

退職手当		自己都合	勧奨・定年
	勤続20年	23.50月	30.55月
	勤続25年	33.50月	41.34月
	勤続35年	47.50月	59.28月
	最高限度額	59.28月	59.28月

※定年前早期退職者に対して2%～20%の加算措置有り



特別職の報酬の状況

（平成23年4月1日現在）

区分	月額	減額後	期末手当(支給割合)	
			6月期	12月期
給料	町長	810,000	688,500	1.4月分
	副町長	630,000	567,000	1.5月分
	教育長	560,000	532,000	合計 2.9月分
報酬	議長	310,000	—	6月期 1.4月分
	副議長	250,000	—	12月期 1.5月分
	議員	235,000	—	合計 2.9月分

※平成23年度において、町長15%、副町長10%、教育長5%をそれぞれ減額しています。特別職の期末手当は、減額後の給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

勤務時間（標準的なもの）

（平成23年4月1日現在）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00	土曜日・日曜日

休暇制度の概要

- 有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏期休暇、社会奉仕活動など）
- 無給 介護休暇、組合休暇

問合せ 総務企画課行政管理室へ

町職員の給与・人事行政の内容を

採用の状況

(平成23年4月1日)

	男	女	合計
一般行政職	4人	0人	4人
放射線技師	1人	0人	1人
看護師	0人	1人	1人
合計	5人	1人	6人

退職の状況

(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

	男	女	合計
定年退職	1人	2人	3人
勸奨退職	2人	1人	3人
普通退職	2人	2人	4人
合計	5人	5人	10人

職員数の状況

(各年度4月1日現在)

職種別	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護・保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職	技能労務職	その他 教育職	合計
22年度	96人	9人	3人	11人	45人	8人	2人	7人	1人	182人
23年度	97人	9人	3人	11人	42人	8人	2人	6人	1人	179人
増減	+1人	±0人	±0人	±0人	△3人	±0人	±0人	△1人	±0人	△3人

一般行政職の級別職員数の状況

(平成23年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な職務	主事・主事補	主任	係長・主査	室長・補佐	主幹	課長
職員数	18人	25人	29人	16人	1人	8人
構成比	19%	26%	30%	16%	1%	8%

人件費の状況

(平成22年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (平成23年3月末)	歳出総額(A)	人件費(B)	22年度人件費率(B/A)	21年度人件費率
8,981人	6,126,810千円	886,968千円	14.5%	14.9%

職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区分	職員数(A)	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)	
22年度	111人	410,367千円	67,179千円	152,702千円	630,248千円	5,678千円
23年度	113人	415,241千円	72,551千円	146,189千円	633,981千円	5,610千円

平均給与月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区分	平成22年度			平成23年度		
	平均年齢	平均経年数	平均給料月額	平均年齢	平均経年数	平均給料月額
一般行政職	42.4歳	21.3年	303,300円	42.4歳	21.2年	300,700円
技能労務職	50.8歳	30.1年	289,300円	50.3歳	29.8年	289,900円

初任給の状況

(平成23年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	161,600円	172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円
技能労務職	高校卒	125,400円	137,200円

※小国町では大学卒の初任給は、初級試験採用の適用となります。

ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

年度	20年度	21年度	22年度
小国町	90.5	90.7	91.5
県内町村平均	95.3	95.1	95.8
全国町村平均	94.2	94.6	95.1

※ラスパイレス指数は国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。

宇宙大豆・雑穀の子種の活用に向けて

～宇宙大豆・雑穀子種引渡式～

オーザップ
OHZUP（おぐに秘伝豆&雑穀宇宙プロジェクト）による「宇宙大豆・雑穀子種引渡式」が、11月12日、道の駅白い森おぐに「レストランあいあい」で開催されました。

約10カ月間の宇宙滞在を終えて小国に帰ってきた大豆と雑穀（タカキビ、モチキビ、アワ）は、山形県置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室（南陽市）で栽培された後、雑穀は9月26日に、大豆は11月8日に収穫され、この度、OHZUPにその子種が引き渡されたものです。

引渡式には、OHZUP会員、町関係者のほか、これまで大豆や雑穀の栽培に関わってきた小学生、高校生も参加。OHZUP代表の川崎吉巳さん（大石沢）は、「来年の活動は、受け取った種を町内で栽培し、その種子を増やしていくことが中心になります。農業振興、教育活動などにも活用して、地域の活性化につなげていきたいと考えています。」と話されました。



きれいな音色と みんなの声が思い出に

～白沼小中学校閉校記念コンサート～

白沼小中学校閉校記念コンサートが、11月17日、同校で開催されました。

当日は、ソプラノ、ピアノ、フルートの3人の音楽家で構成され、山形市や仙台市で活動しているグループ「クラシックユニット バンビーナ」がクラシック音楽やミュージカルの名曲「サウンド・オブ・ミュージック」などを披露しました。また、バンビーナの演奏にあわせて、来場者全員で校歌を合唱するなど、思い出に残るコンサートになりました。

「おも白い森」が 輝けやまがた若者大賞を受賞

「お花見でおも白い森」などの交流イベントを開催している青年グループ「おも白い森」が、地域活性化への貢献が評価され、「平成23年度山形県輝けやまがた若者大賞」を受賞しました。

おも白い森代表の渡邊拓磨さん（樽口）は、「小国の魅力を、町外にも積極的にPRしていきたいです。小国を元気にしようという思いを次の世代に伝えていきたいと思います。」と語ってくれました。



旧校舎を舞台に芸術で交流

～芸術の収穫祭かつきり祭り～



「芸術の収穫祭」が、11月5日から20日までの間、旧小玉川小中学校で開催されました。

これは、農作物の収穫を祝う小玉川地域の祭り「かつきりまつり」にあわせて、芸術作品を展示し、鑑賞しながら、多くのかたがたと交流を深めようと、本年度同校を活用し、芸術活動を通じた交流事業などを行っているグループ「studioこぐま」が主催したものです。「studioこぐま」のメンバーは、東北芸術工科大学の卒業生で、代表の大

沼洋美さん（寒河江市出身）、原田聖さん（北海道根室市出身）、鈴木淳平さん（三重県四日市市出身）の3人です。

開催期間中は、校庭を含め同校の1階から3階まで全てを展示スペースとして、「studioこぐま」メンバーをはじめ、同大学関係者、小玉川地域の皆さんの絵画や写真などの作品100点以上が展示されたほか、デッサン教室や音楽演奏なども行われました。

また、最終日には、小玉川地域恒例の「かつきりまつり」も行われ、同大学関係者や出展者、地域のかたがたなどが一堂に会して、秋の収穫を祝うとともに、交流を通じて楽しいひとときを過ごしていました。

笑顔キラリ

Smile.08

間宮貴翔さん

DATA

- まみや きしょう
- 年齢/24歳 ●住まい/小国小坂町
- 趣味/スポーツ全般、音楽・映画鑑賞

Mamiya
Kisho



昨年度は、北部中学校で、本年度からは、南陽市の沖郷中学校で理科の教諭をしています。

一年生の担任を務めていますが、指導にあたっては、「相手を思いやれる人、みんなのために一生懸命になれる人」を育てられるよう、日々、心掛けています。

私は、小国で生まれ育ちましたし、たくさんの人々に支えられてきました。大好きな小国町がさらに発展するよう、教員として、また、一人の人間として、人づくりや地域づくりに貢献し、恩返ししていきたいと思っています。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

《あけぼの団地》

3DK 1戸(3階)

2DK ※高齢世帯向け

1戸(1階)

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますので、お問合せください。

《岩井沢勤労者住宅》

3DK 2戸(3階・1階)

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 12月9日(金)

■入居時期 1月5日以降

■問合せ先 地域整備課建設管理室へ

河川の支障木を

利用しませんか

山形県では、河川管理上支障となる樹木の伐採協力を募集しています。また、県が指定する条件悪地での支障木の伐採・利用については、経費の一部を助成する制度も利用できます。

対象者

自ら支障木を伐採・利用する方(団体・企業等を含む)

対象河川

置賜野川(長井市宮地内)、置賜白川(長井市歌丸地内)、置賜白川(飯豊町黒沢地内)

■申込期限 12月9日(金)

■問合せ先 置賜総合支庁西置賜河川砂防課維持調査担当(88-8233)へ

ご案内

つる細工講習会

■期日 1月18日(水)～20日(金)

■場所 飯豊梅花皮荘

■内容 アケビつるなどを使った作品づくり(定員50人)

■参加費 町内者18,000円

町外者22,000円

※宿泊費、食事代を含みます。日帰りの参加費はお問合せください。

■申込期限 12月28日(金)

■その他 役場と小国駅から送迎バスを運行します。

■問合せ先 小国町観光協会(62-2416)へ

給与所得者の個人町・県民税は「特別徴収」で納付してください。

給与所得者の個人町・県民税は、法令により、事業主が給与から特別徴収(引き落とし)して、給与所得者に代わって市町村に納税することになっています。小国町では、237事業所が特別徴収を行っています。

※常時3人以上の従業員等に給与を支払っている事業主は、すべて所得税の源泉徴収並びに個人町・県民税の特別徴収を行う義務があります。

事業主の皆さん

- 所得税は源泉徴収しているけれど、個人住民税は特別徴収していない、ということはありませんか？
- 税額の計算は市町村が行いますので、所得税のように税額の計算や年末調整をする手間はかかりません。

山形県と小国町では、個人町・県民税の特別徴収の徹底に取り組んでいます。

■問合せ先 町民税務課税制管理室へ

町内の空間放射線量をお知らせします。

～ いずれの場所も人体に対して影響のない水準です ～

■11月9日(水)の空間放射線量

測定場所	測定値(μSv/h)
北部小中学校 グラウンド	0.10
沖庭小学校 グラウンド	0.11
旧小玉川小中学校 グラウンド	0.11
旧玉川小中学校 グラウンド	0.12
小国小学校 グラウンド	0.12
小国中学校 グラウンド	0.11
叶水小中学校 グラウンド	0.11
旧伊佐領小学校 グラウンド	0.12
白沼小中学校 グラウンド	0.13

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

今月の町長と語る日は12月22日(木)です。お気軽においでください。
皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238 (62) 2611

1月の子育てカレンダー

■問合先 健康福祉課または子育て支援センターへ

◆対象となるかた
■あそびの広場、なかよし広場、ゆきんこ広場
入園前のお子さんと保護者

■4カ月児健診

平成23年9月生まれ

■1歳児健診

平成23年1月生まれ

■3歳児健診

平成20年5月～7月生まれ

■両親学級

平成23年10月～12月に母子健康手帳の交付を受けたかた

■乳児健康相談

生後5カ月～11カ月のお子さん

■こども愛ランド

概ね2歳からのお子さんと保護者

会場・集合場所
◆健康管理センター
☆アスモ多目的ホール

日	月	火	水	木	金	土
1 元旦	2	3	4	5 ☆なかよし広場 10:00～11:30	6	7
8	9 成人の日	10 ◆あそびの広場 10:00～11:30	11 ◆両親学級 9:30～12:30	12 ☆なかよし広場 10:00～11:30	13 ◆3歳児健診 受付 12:30～13:00	14
15	16 ◆ゆきんこ広場 10:00～11:30	17 ◆あそびの広場 「子育て講座・ 絵本の楽しみ」 10:00～11:30	18 ◆乳児健康相談 10:00～11:30	19 ☆なかよし広場 10:00～11:30	20	21 ◆こども愛ランド 「雑穀料理教室・ 親子で体操」 9:30～12:00
22	23 ◆ゆきんこ広場 10:00～11:30	24 ◆あそびの広場 10:00～11:30	25	26 ☆なかよし広場 10:00～11:30	27 ◆4カ月児健診 受付 13:10～13:20 ◆1歳児健診 受付 13:00～13:10	28
29	30 ◆ゆきんこ広場 10:00～11:30	31 ◆あそびの広場 10:00～11:30	1	2	3	4

求人情報

右の表は、11月25日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町を主な就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますのでご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井(Tel.84-8609)へお問い合わせください。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
おぐに白い森(株)	乗客係、出札係 (横根スキー場)	3人	8:00～16:30 16:30～21:00
(株)ケイプロダクツ	自動車整備	1人	9:00～18:00
田中クリニック	看護師	1人	8:45～17:45(月～金) 8:45～12:15(土)
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15～17:00
(株)コメリ 新潟地区本部	販売員(山形・新潟・長野/リージョナル社員)	3人	9:00～18:00 10:00～19:00 12:30～21:30 就業時間は早番(9時～)と遅番(12時30分～)等の組み合わせによるシフト制
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転手、一般事務員、砂利プラント運転士他	8人	8:00～17:00
(有)蔵王ストアー	レジ係(販売員)	1人	8:45～18:00
斉藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(株)金十商店	レジ業務・生鮮作業業務	2人	9:30～13:00 16:00～19:30
第一ホール小国店(有)コンズカンパニー	ホールスタッフ【急募】	1人	8:30～16:30 8:30～17:00 17:00～23:00

今月の納税 2011.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 12月26日(月) 水道料、固定資産税(4期)、国民健康保険税(6期)、後期高齢者保険料(6期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先 町民税務課税政管理室へ

置賜広域行政事務組合 競争入札参加登録申請(追加申請) の受付について

平成24年度に行う①建設工事、②設計・測量コンサルタント及び、平成24・25年度に行う③物品納入及び役務提供の競争入札参加登録の追加申請を受け付けます。

※①~③ともに追加申請となりますので、平成23年度に申請されている場合は、申請の必要はありません。

※平成24年4月1日から米沢市、南陽市、高島町、川西町の消防・救急業務が各市町から置賜広域行政事務組合に移りますので留意ください。

※申請に必要な書類等、詳細は、本組合ホームページ(<http://www.okikou.or.jp>)をご覧ください。

■ 受付期間

- ①・②：平成24年2月1日(水)~2月17日(金)
- ③：平成24年1月16日(月)~2月3日(金)
- ※郵送の場合、当日消印有効

■ 問合せ・申請先

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番55号
置賜広域行政組合総務課庶務係(0238-23-3246)へ

各種相談

年金相談

- 日時 12月21日(水)
10:30~14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢年金事務所職員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

行政相談

- 日時 12月24日(土)
10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

多重債務無料相談

- 日時 12月15日(木)
10:00~20:00
- 場所 山形市中央公民館
- 申込み 12月8日(木)まで申し込み
が必要です。
- 申込・問合せ先
東北財務局金融監督第三課
(022-266-5703) へ

山形おきたま

冬のあった回廊 キャンペーン

冬の観光誘客の拡大を図るため、置賜3市5町が連携して、冬のグルメ、温泉、イベント等を実施します。

広域イベントとしてクリスマス列車の運行や酒蔵・ワイナリーの見学&スタンプラリーを実施するほか各市町で盛りだくさんの企画やイベントがあります。

■ 小国町内のプログラム

マタギ鍋、つる細工体験、かんじき歩き体験など

■ 問合せ先 山形おきたま観光協議会事務局
(置賜総合支庁観光振興室内 0238-26-6046)へ

総合センター図書室から

■ 休館日……毎週月曜・祝日

● 新着図書

- ◆ はげましてはげまされて 竹浪 正造
- ◆ 河北新報のいちばん長い日
河北新報社
- ◆ 山形県の歴史散歩
- ◆ TPPでどうなる日本? 農文協
- ◆ 希望 乙武 洋匡
- ◆ ポニーテール 重松 清
- ◆ 暴力団 溝口 敦
- ◆ 日本でいちばん大切にしたい会社
坂本 光司
- ◆ はじめての釣り 村越 正海
- ◆ 「また、必ず会おう」と誰もが言った。
喜多川 泰



- 小国町役場 02-2111(代) 02-5464
- 行政管理室 02-2112 ●政策企画室 02-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 02-2260
- 国保医療担当 02-2261 ●税政管理室 02-2403 ●会計室 02-2406
- 農林振興室 02-2408 ●商工観光室 02-2416 ●建設管理室・水道管理室 02-2431
- 建設技術室 02-2432 ●議会事務局 02-2448

年末年始の休館情報等について

内容 期 日	水 道	町 立 病 院	ご み 収 集	小国リレー センター	●総合センター ●町民体育館 ●ふれあいの家 (毎週月曜休館)	温水プール (毎週月曜休館)
29日(木)	通常どおり	休 診	通常どおり	通常どおり	休 み	通常どおり
30日(金)	小関住宅設備 tel.62-5347	休 診	休 み	休 み	休 み	通常どおり
31日(土)	津島屋電機店 tel.62-2404	休 診	休 み	休 み	休 み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
1月1日(日)	パイプライン tel.62-2461	休 診	休 み	休 み	休 み	休 み
2日(月)	設備佐藤 tel.62-5606	休 診	休 み	休 み	休 み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
3日(火)	清水設備 tel.67-2127	休 診	通常どおり	休 み	休 み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
問合せ先	地域整備課 水道管理室	町立病院	町民税務課 町民生活担当	小国リレー センター tel.63-2251	総合センター 町民体育館	温水プール tel.62-4248

平成24年度の保育園・へき地保育所・中央児童室の 入所申し込みを受け付けます

- 受付期間 平成23年12月13日(火)～15日(木)
- 受付時間 午前8時30分～午後7時
- 受付場所 健康管理センター
- 対 象 者
 - おぐに保育園、白百合保育園、すみれ保育園、おきにわ保育園は、家庭で保育することができない乳幼児
 - あさひ保育園、叶水保育園は、家庭で保育することができない概ね2歳以上の幼児
 - 中央児童室は、放課後に家庭で養育することのできない、小学1年生から3年生までの児童（今年度入所している方も新たに申し込みが必要です。）
- 申込方法

申込書に必要事項を記入の上、受付期間内に提出してください。申込書は、健康管理センター及び各保育園に準備してあります。
- そ の 他
 - 保育園について、定員を超えた場合は、希望する施設に入所できない場合があります。

また、入所期間は、小学校に入学するまでの範囲内で希望することができます。

- 中央児童室について、今回の申し込み結果によって平成24年度の受け入れ体制を検討するため、入所を予定している方は必ず期間内に申し込んでください。

※定員 中央児童室 40名
中央児童室分室 30名

【保育所一覧】の閲覧

保育所の情報として、健康管理センターに「保育所一覧」を備えています。施設の状況、保育内容の詳細、町の保育事業などが記載されていますので、資料として活用してください。

- * 閲覧期間 12月1日(木)～
(ただし、閉庁日は除きます。)
- * 閲覧時間 午前8時30分～午後5時15分
- * 閲覧場所 健康管理センター

■問合せ先 健康福祉課へ

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

若山舟山 ^{みのり} 実里 (俊喜) 葉子
 小国町高井 ^{りいさ} 莉衣咲 (和明) ゆかり

結婚おめでとございます。

(玉川伊藤真樹 岩手県高橋千恵 西加藤優介 米沢市竹田公実子 大滝塚原敏哉 岩井沢多勢望美 岩井沢栗田学 新潟県伊藤静恵)

おくやみ申し上げます。

尻無沢 齋藤喜次雄 (78)
 あけぼの 飛渡千代 (95)
 あけぼの 佐藤きぬ (91)
 小国小坂町 伊藤保子 (85)
 若山 舟山虎男 (85)
 小国町 山北和 (84)
 五味沢 舟山貞男 (87)
 叶水 木村英夫 (85)
 北沢 木村藤榮 (92)
 岩井沢 本間力ネ子 (81)
 大滝 佐藤春吉 (93)
 岩井沢 野澤ハマ子 (86)
 綱木箱口 今新一 (95)
 松岡 舟山ヨシエ (99)

人口のうごき

人口 男…4,325人(-15)
 女…4,587人(-7)
 計…8,912人(-22)
 世帯数 3,239世帯(-5)

平成23年10月31日現在

～訂正とおわび～

先月号の「戸籍のまど」お誕生の記事において、川上伶琉ちゃんのお父さんの名前の記載に誤りがありました。訂正しておわびいたします。

誤……………明人さん
 正……………朋人さん

伝えよう! 広めよう!

シリーズ20

おぐにの食文化

Oguni Slow Food Recipes



生イモ こんにやく

材料

コンニャクイモ……1kg
 凝固材(灰汁)……700ml

灰汁は、ブナやナラなどを燃やしてできた灰をボールに入れ、それに熱湯を注いでできた上澄み液。

作り方

- ① コンニャクイモを洗って、輪切りにする。
- ② ①を柔らかくなるまでゆでて、ミキサーにかける。
- ③ ②を容器に移し、お湯を入れてのぼし、30分ほどおく。
- ④ 凝固剤(灰汁)を入れて、かき混ぜる。
- ⑤ ④を鍋に入れて、1時間から2時間ほどゆでて出来上がり。
- ⑥ ⑤を切り分けて、湯がいて食べる。

伝承者 横山 とよ子さん (泉岡)

畑でコンニャクイモを栽培し、自家製こんにやくを作り、いろいろな料理に生かしています。凝固剤は、暖をとっている薪ストーブから出る灰を使っています。薪も灰も、森はさまざまな恩恵を私たちに与えてくれます。



編集後記

11月5日から20日までの期間、旧小玉川小中学校で開催された「芸術の収穫祭」。私もお伺いし、多くの作品にふれることができました。美しいものができた。美しいもの、迫力があるもの、なるほどと考えさせられるもの。私たちの身の回りの物にも、広報紙などの紙面にも、デザインという要素が求められます。芸術作品を見て学んだこと、感じたことを紙面づくりにも生かしていきたいと思いましたが、(加藤)